

平成19年度 国有林野事業業務研究発表会 開催

林野庁では、森林管理局等における現場業務の実行を通じて得られた森林の整備手法の確立、国民参加の森林づくり、森林環境教育支援等に関する取組成果を広く一般に普及するため、毎年度「研究発表会」を開催しています。今年度も発表会が11月27日に開催され、計25組が発表しました。

現場での取組み成果を 発表する場

林野庁が主催する「国有林野事業業務研究発表会」が十一月二十七日に開催されました。今年で第四十回となるこの発表会は、森林管理局などにおける現場業務から得られた森林の整備手法の確立、国民参加の森林づくり、森林環境教育支援などに関する取組み成果を広く一般に普及することを目的として毎年度開か

ています。

取組みの内容により「森林技術部門」と「森林ふれあい部門」に分類し、技術部門では森林の効率的な整備および適切な保全、職員の安全衛生意識の向上、効果的な業務運営などに、ふれあい部門は国民参加の森林づくりの推進、自然再生への取り組み、森林環境教育支援へのあり方などを対象としています。技術部門では十五組、ふれあい部門では十組が発表を行いました。



とくに優秀だった発表に対しては各賞が授与されました

森林整備の技術を 評価する技術部門

技術部門で林野庁長官賞（最優秀賞）を受賞したのは東北森林管理局森林技術センターの「スギ若齢人工林のヒバ混交林への誘導について」でした。ヒバの天然更新がみられるスギの生育不良地において、両樹種の地形などに対する適性を検証し、混交林へ誘導するための手法を考察したものです。

同部門で林野庁長官賞



発表に対して質疑応答も活発におこなわれました

（優秀賞）を受賞したのは中部森林管理局森林技術センターの「地域に適応した路網整備を軸とする低コスト作業システムへの取組」。「低コスト作業システムを緊急な課題と位置づけ、中部森林管理局管内への導入および普及に向けた取組みを紹介しました。

同じく林野庁長官賞（優秀賞）を受賞した北海道森林管理局後志森林管理署は「転石固定工による落石防止対策について」を発表しました。転石被害の防止対策として、既存の工法では施工困難な現地条件を考慮



ふれあい部門最優秀賞を受賞した
中部局飛騨森林管理署の発表



技術部門最優秀賞を受賞した
東北局森林技術センターの発表

し、ワイヤーロープをリング状に組み立てて斜面を覆う工法を検討したものです。

そのほか、林業機械化協会会長賞を東北森林管理局山形森林管理署最上支署による「国有林野事業における携帯型GPSの精度と活用方法に関する考察」が受賞、また林業・木材製造業労働災害防止協会会長賞を近畿中国森林管理局三重森林管理署の「森林管理におけるハチ誘引捕殺器の功罪について」が受賞しています。

研究発表一覧

森林技術部門

1	転石固定工による落石防止対策について 北海道局後志森林管理署 佐藤忍 福土忍 梅田真氏
2	スギ超長伐期林における収穫予想表の調製に向けた取組 東北局計画課・住田町産業振興課 和泉慎太郎 英賀慶彦
3	国有林野事業における携帯型GPSの精度と活用方法に関する考察 東北局山形森林管理署最上支署 西川美智子 三井栄子
4	亜高山帯風衝地の崩壊法面における自生植生を利用した植生回復の取組について 関東局日光森林管理署・栃木県大田原土木事務所・東電設計㈱ 平井信彰 宮田悦央 村岡政行
5	木材の安定供給体制に対する民有林・国有林の取組について 関東局群馬森林管理署・群馬県藤岡環境森林事務所 高田悟 小澤正和
6	地域に適応した路網整備を軸とする低コスト作業システムへの取組 中部局森林技術センター 大林誠司 熊澤智史
7	伊崎国有林における自然再生に関する取組 - カワウによる森林被害対策 - 近畿中国局箕面森林環境保全ふれあいセンター・滋賀森林管理署 上村邦雄 山本正志
8	天然林におけるスギ天然更新技術の確立（経過報告） 四国局森林技術センター 鷹野孝司
9	高密度作業路網の状況調査について 四国局四万十森林管理署 古庄弘英
10	針広混交林の試植検定林の設定 九州局森林技術センター 下村治雄 木崎真一郎
11	スギ人工木材の島外出荷に関する取組について 九州局屋久島森林管理署 本田勝美 草野正揮
12	簡易丸太棚工の開発 - 間伐木及び風倒木の利用拡大に向けて - 近畿中国森林技術センター 早田慎司 元田啓介
13	森林管理におけるハチ誘引捕殺器の功罪について - より効率的な設置を目指して - 近畿中国局三重森林管理署 田口康宏
14	スギ若齢人工林のヒバ混交林への誘導について 東北局森林技術センター 尾上好男 木村正彦
15	高齢級人工林のモニタリング調査 関東局森林技術センター 池田伸 竹澤和亮

森林ふれあい部門

1	森林環境教育の推進～鹿児島森人類の育成～ 九州局鹿児島森林管理署 永吉国視 小薄政弘
2	森林環境教育の実践と子供たちへの効果 四国局四万十川森林環境保全ふれあいセンター 柏木喜代幸
3	森林・林業についての「総合学習」の進め方 東北局米代西部森林管理署 中山昌弘
4	自然休養林の活用方法について～ポロトの森を事例として～ 北海道局胆振東部森林管理署 山下誠護 黒田大樹
5	島根森林管理署における森林環境教育への取り組み 近畿中国局島根森林管理署 樋口千代子 古里隆定
6	地域と連携した環境教育・環境保全の取り組み 中部局飛騨森林管理署 大西沙織 目黒雅大
7	考える森林教室 関東局計画課 木俣かおり
8	白神山地周辺における森林環境教育推進の取組について 東北局藤里森林センター 石川敏
9	森林官のミニコミ活動から始まる地域理解の再構築 北海道局保全調整課 中鍵貴之
10	国有林の森林リソースマップ作成プロセスについて 北海道局上川南部森林管理署 西梅慶臣

森林を用いた幅広い活動を評価するふれあい部門

ふれあい部門で林野庁長官賞（優秀賞）を受賞したのは、中部森林管理局飛騨森林管理署の「地域と連携した環境教育・環境保全の取り組み」でした。地域に密着した森林環境教育の継続性を図るため、北アルプス双六池の環境保全活動などで森林管理署がコーディネーターとしての役割を果たした取組みを発表しました。

同部門での林野庁長官賞（優秀賞）は北海道森林管理局保全調整課の「森林官のミニコミ活動から始まる地域理解の再構築」が受賞しました。毎月、遠別町全世帯に森林官手作りのミニコミ誌「遠別の森から」を届けながら地域との接点を再構築した活動を紹介しました。

そのほか、全国木材組合連合会長賞を東北森林管理局の米代西部森林管理署の「森林・林業についての『総合学習』の進め方」が受賞、全国森林レクリエーション協会会長賞

を関東森林管理局計画課の「考える森林教室」が受賞しました。

受賞された方々の取組みは、地域の特色を活かし、独自性にとんだ創意工夫がこらされていました。

今後、この発表が現場に普及していくことにより、地球温暖化防止に対応した森林整備や、林業・木材産業の再生、地域のニーズに応える森林環境教育の取組み等が着実に進められるとともに来年もさらに素晴らしい発表がこれに続くことを期待しています。